

知らない間の出来事

あゆみの回想

（九月一日）

いよいよ、新しい学校での生活が始まった。父の転勤^{てんきん}とはいえ転校は不安だったが、自己紹介^{じこしょうかい}の後、みんなから拍手^{はくしゅ}をもらい、これから楽しくやっていけそうな気がした。

ちようど、校門から道路に出ようとするとき、同じクラスのみかさんに声をかけられた。

「ねえ、あゆみさん。わたしたちなんだか仲良しになれそうな気がするの。そのわけはあとでゆっくり話すね。で、早速^{さつそく}だけど、これから一緒に遊ばない。時間と場所はあとでメールするから、携帯^{けいたい}電話のメールアドレス教えて。」

「こちらこそ、よろしく。でも、ごめんね。わたし、携帯電話……、持っていないの。そのかわりうちの家の電話番号、教えるから。」

と、言って、メモ用紙に家の電話番号を書いてわたした。

みかさんは、メモ用紙を受け取ると、がっかりしたようすで、

「えっ、携帯持っていないの。ううん、じゃあ、またね。」

と、言って、帰ってしまった。

わたしが前にいた学校では、携帯電話は本当に必要なかったし、親からもまだ早いだろうと言われていたので、持っていなかったのだ。

（九月二日）

新しい学校での二日目^{ふつかめ}。教室に入ると、みんなの視線^{しせん}がなんだか自分に向けられていることに気付いた。思い切つてとなりの席の男子に聞いてみた。

「ねえ、なんでみんなわたしのほうを見ているんだろう。」

「それはね、たぶん、あゆみさんのことが書かれたメールのことだと思うよ。」

「えっ。何て書いてあったの。」

「今度転校してきたあゆみさんは、前の学校で仲間はずれになっていたので、この学校に転校してきたんだって。ねえ、それ本当なの。」

わたしの心は、おどろきでいっぱいになった。

（どうしてわたしがそうになってしまうの。このままだと本当に仲間はずれになってしまう。）

わたしは、どきどきする胸むねの鼓動こどうを聞きながら、帰りの会で発言した。

「わたしは、前の学校で仲間はずれにされたりしていません。みんなと仲良しでした。根も葉もないことをメールで勝手に流されたりして、とてもかなしいです。みんながメールのことを本気にしてしまうといやなので、勇気を出して言いました。」

帰りのあいさつのあと、先生が声をかけてくれたが、わき目もふらず家に帰った。

「あゆみに電話よ。」という母の声が聞こえてきたのは夕方四時ごろだった。



みかの回想

（九月一日）

二学期が始まった日、転入生をむかえた。転入したあゆみさんは自己紹介でこんなことを言っていた。「わたしは、漫画まんがが好きで、読むのもかくのも両方好きです。特に、最近むは漫画をかくことに夢中むちゆうです。はやくみんなと友達ともだちになりたいです。よろしくお願いします。」

わたしはびっくりした。それはわたしの趣味しゅみとまったく同じだったからだ。わたしも漫画が大好きで、最近むは、かくほうに夢中だった。

（よし、あゆみさんと友達になって、漫画をかいで遊ぼう。）

まずは、メールアドレスを聞いて、それから遊ぶ時間と場所を決めようと思い、あゆみさんに声をかけた。

わたしは、ふたたびびっくりした。あゆみさんは、携帯電話を持っていなかった。せっかく、漫画の話ができると思ったのに……。家の電話番号が書かれたメモ用紙は、小さく丸めて、ポケットにつっこんだ。

もしかして、あゆみさんが携帯電話を持っていないということは、友達と連絡れんらくできないということ。

ということは、友達があまりいない子だったのではないか、などと思い、
《今度の転校生、携帯持っていないんだって。友達あまりいないみたい、これは推測^{すいそく}だけど。》
と、メールに書いてクラスの友達に送った。

（九月二日）

朝、教室に入るとクラスのみんながあゆみさんのことをうわさしている声が耳に入った。

授業も終わり、帰りの会で、いきなりあゆみさんが手をあげて言い出した。それは、前の学校の根も葉もないことをメールで流されたということだった。なんで、そんなことがメールで流れたのだろう。

放課後、クラスの友達に聞いてみた。

「さっきのあゆみさんの話だけど、どんなことが書いてあったの。」



「わたしのメールには、『今度の転校生は、携帯をもっていないから、仲間外れにされて、この学校に入ってきたらしい。』と、書いてあったよ。」

わたしは、それを聞いて、はっとした。まちがない。それは、わたしが書いたメールがいつの間にかこんなことになっていたのだ。わたしの思いこみがこんなことになってしまうとは……。

頭の中は、あゆみさんのことでいっぱいになった。

わたしが、電話番号の書いてあった紙をきれいにもどし、あゆみさんの家に電話したのは夕方のことだった。